

第2回泌尿器腫瘍放射線（GUTR）研究会プログラム

会 長 平岡 眞寛（京都大学大学院 放射線腫瘍学・画像応用治療学）

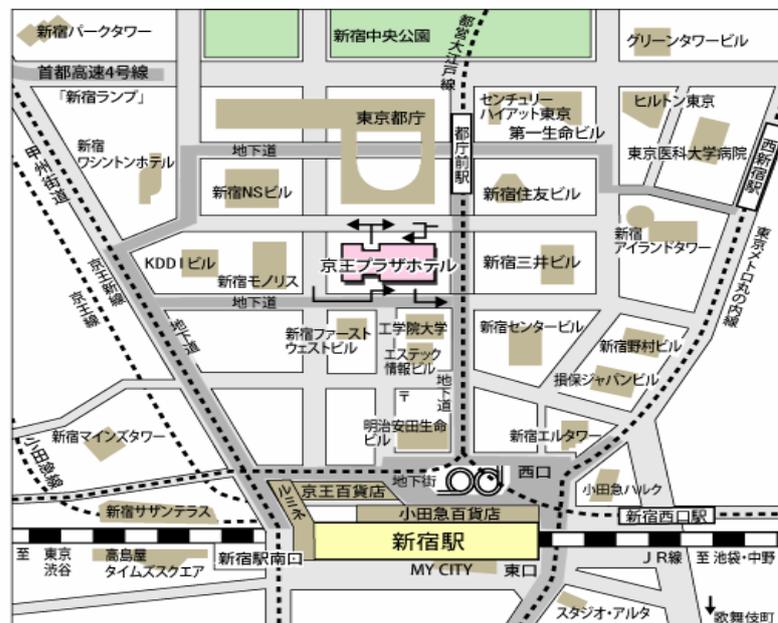
会 期 平成18年10月17日（火） 10:00～15:30

会 場 京王プラザホテル東京 5階 「コンコードC」
東京都新宿区西新宿 2-2-1 電話 03-3344-0111（代表）

参加費 2,000円

事務局 第2回 GUTR 研究会事務局
京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学内
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
Tel:075(751)3422 Fax:075(771)9749

会場案内



- JR 新宿駅西口下車 徒歩5分。
- 京王線・小田急線・地下鉄（東京メトロ丸の内線・都営新宿線）新宿駅下車 徒歩5分。
- 都営大江戸線 都庁前駅B1出口すぐ。
- お車なら 「新宿ランプ」を降りて、3つ目の信号を右折、2つ目の信号を右折、200m位先の左側。
- 成田空港、羽田空港との直通リムジンバスがごさいます。

開会の辞 (10:00 ~ 10:05)

第2回 GUTR 研究会 会長 平岡 眞寛

シンポジウム 1 (10:05 ~ 11:05)

cT1-2NOMO 前立腺癌の治療成績

司会：賀本敏行（京都大学 泌尿器科）

晴山雅人（札幌医科大学 放射線科）

X線外照射：九州大学 放射線科 中村和正

手術：神戸大学 泌尿器科 原 勲

インプラント：埼玉病院 泌尿器科 門間哲雄

HDR：川崎医大 泌尿器科 常 義政

シンポジウム 2 (11:05 ~ 12:05)

PSA-F の判定基準(治療後の PSA 値の推移)

司会：野々村祝夫（大阪大学 泌尿器科）

青木 学（慈恵医科大学 放射線科）

手術：慈恵医大 泌尿器科 穎川 晋

外照射単独：東京都立駒込病院 放射線科 唐沢 克之

NA-HT 併用外照射：京都大学 放射線治療科 溝脇 尚志

インプラント：岡山大学 泌尿器科 江原 伸

総会 (12:10 ~ 12:20)

【総会開始前に会場にお弁当を用意します。】

教育講演 1 (ランチョンセミナー) (12:20 ~ 13:20)

司会：杉村和朗（神戸大学 放射線科）

前立腺癌の MRI 診断 — 拡散強調画像を中心に —

倉敷中央病院 放射線科 渡邊 祐司

(共催 アストラゼネカ株式会社)

要望演題 (13:20 ~ 14:20)

司会：上村博司 (横浜市立大学 泌尿器科)

秋元哲夫 (東京女子医大 放射線科)

テーマ：「臨床病期 C-D1 前立腺癌の診断と治療」

- 1) ハイリスク前立腺癌に対する重粒子線治療における併用内分泌療法の意義と新規リスク分類の提唱
千葉大学¹⁾, 東京厚生年金病院²⁾, 放射線医学総合研究所³⁾
鈴木啓悦¹⁾, 赤倉功一郎²⁾, 辻比呂志³⁾, 辻井博彦³⁾, 島崎淳¹⁾, 市川智彦¹⁾
- 2) 限局性前立腺癌に対する金マーカー併用 3 次元原体照射の治療成績
—Stage C を含む high risk 群の PSA の動向を中心に—
香川大学泌尿器科学、愛媛労災病院^{*1)}、香川大学放射線科^{*2)}
杉元幹史、佃 文夫^{*1)}、谷口 進、岡添 誉、田岡利宜也、常森寛行、乾 政志、三谷昌弘^{*2)}、笥 善行
- 3) 前立腺癌に対する高線量率小線源治療単独療法
大阪大学 大学院医学系研究科 放射線治療学
吉岡靖生、小西浩司、古妻理之、鈴木修、小原大枝、磯橋文明、中村聡明、井上武宏
- 4) 前立腺癌：C、D1 期に対する内分泌療法・根治的放射線治療・同時併用の有用性に関する検討
金沢大学大学院・量子医療技術学¹⁾ 金沢大学大学院・経血管診療学²⁾
黒部市民病院 放射線科³⁾
菊池 雄三¹⁾、熊野 智康²⁾、松嶋 正則³⁾、武村 哲浩¹⁾、田中 利恵¹⁾、高松 繁行²⁾、水野 英一²⁾、高仲 強²⁾、松井 修²⁾
- 5) D1 期前立腺癌に対する SIB-IMRT の試み
京都大学大学院 放射線腫瘍学・画像応用治療学¹⁾、泌尿器科学²⁾
則久佳毅¹⁾、溝脇尚志¹⁾、賀本敏行²⁾、高山賢二¹⁾、中村英二郎²⁾、神波大己²⁾、小川 修²⁾、平岡眞寛¹⁾
- 6) High-risk 前立腺癌に対するネオアジュバント・アジュバント内分泌療法併用における HDR (high-dose-rate) brachytherapy の治療効果の検討
北里大学医学部 泌尿器科¹⁾・放射線科²⁾ 東京慈恵会医科大学泌尿器科³⁾
佐藤威文¹⁾ 北野雅史²⁾ 颯川 晋³⁾ 藤田哲夫¹⁾ 石山博條²⁾ 大草 洋¹⁾ 小谷承子²⁾ 上前峰子²⁾ 早川和重²⁾ 馬場志郎¹⁾

教育講演 2 (サテライトセミナー) (14:25 ~ 15:25)

司会：窪田吉信 (横浜市立大学泌尿器科)

前立腺癌の病理診断 特に Gleason 分類の要点と問題点について

三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座 白石 泰三

(共催 アストラゼネカ株式会社)

閉会の辞 (15:25 ~ 15:30)

次期会長

〈お詫び〉

会場の都合で特別企画：「前立腺癌診療ガイドラインの概要説明と意見交換」は中止となりました。ただし、「前立腺癌診療ガイドラインの概要説明会」は、10月20日午後に癌治療学会総会会場6におきまして予定しておりますので、ふるってご参加下さい。

第2回研究会開催にあたって

第2回泌尿器腫瘍放射線研究会会長

平岡 眞寛

前立腺癌を中心に泌尿器腫瘍の重要性が増す中で、同腫瘍の画像診断、放射線治療に関して、泌尿器科医、放射線科医（画像診断医、放射線腫瘍医）が結集して、情報交換を進めるとともに、学術・研究活動を高めようとの目的で、日本泌尿器学会、日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会の3学会の支援のもとに、設立されたのが泌尿器腫瘍放射線研究会（GUTR: Genito-urinary Tumor Radiology）であります。

その記念すべき第1回大会が、本研究会の代表世話人である箕 善行教授（香川大学）により開催されたのは記憶に新しいところです。

第1回の研究会では、泌尿器科医が放射線科医に聞きたいこと、逆に放射線科医が泌尿器科医に聞きたいことをテーマに2つのシンポジウムが行なわれました。本研究会の設立目的にピッタリの企画が受けてか、会場に入りきれないほどの参加者があったのは嬉しい悲鳴でありました。

その第1回の研究会を受けた第2回では、より具体的な内容に立ち入ったテーマによるシンポジウムを行うことにしました。「cT1-2NOMO 前立腺癌の治療成績」、「PSA-Fの判定基準」という臨床現場で関心の高いトピックスについて、泌尿器科医、放射線科医が本音の、真摯な議論をすることになっています。また、「前立腺癌のMRI診断—拡散強調画像を中心に—」、「Gleason Scoreの抱える問題点と今後の展開」というタイムリーな2つの教育講演を企画しました。今回は、「臨床病期C-D1 前立腺癌の診断と治療」のテーマで一般からの要望演題も取り上げています。

数多くの泌尿器科医、放射線科医の参加を頂き、実りの多い研究会になることを切望いたしております。